

「食と健康について考え，自ら実践する児童の育成」

～自産自消による食育の推進を通して～

I 研究内容

1 研究の具体的内容と方法

- (1) 児童の「食と健康」のための理論研究（学習会・講演会）
- (2) 食と健康に関する自産自消の取り組み
- (3) 授業研究及び授業参観，ブロック交流会での授業公開
- (4) 実態把握のための食と生活に関するアンケート調査2回（児童・家庭）
- (5) Q-Uの実施と結果分析（K13法）及び活用（全体・ブロック）

2 研究実践

- (1) 「学校における食教育の推進について」指導主事を招聘しての学習会
 - ア 「食育推進事業」の概要について 甲州市教育委員会指導主事 久保田英樹先生
 - イ 学校における食育の推進について スポーツ健康課副主幹指導主事 高尾順子先生
- (2) 食と健康に関する自産自消の取り組み
 - ア 教科・総合的な学習の時間の取り組み
 - ・1・2年生 生活科 ぐんぐんそだて 夏野菜・冬野菜の栽培
 - ・3・4年生 総合的な学習の時間 大豆・落花生などの栽培
 - ・5年生 甘草の栽培 バケツ稲の栽培 ころ柿づくり ハクサイの栽培
 - ・6年生 ジャガイモの栽培 大根の栽培
 - ・ひまわり学級 ポップコーン・夏野菜の栽培
 - ・全校 サツマイモの栽培 ミニトマト・ホウレンソウの一人一鉢栽培
 - イ 学校行事・児童会活動での取り組み
 - ・サツマ芋の栽培・収穫 大先輩とのふれあい集会での実食・甘草茶の試飲
 - ・給食センターの見学（1年生，保健・給食委員会）
 - ・給食集会・保健集会（食と健康にイッテQ），図書集会（たべもんど），家庭科クラブ（体にいいおやつ作り）での取り組み
 - ウ 家庭・地域との連携
 - ・食育講演会の実施 「お弁当の日」 講師：竹下和男先生
 - ・お弁当の日の実施（11月・2月）
 - ・JAや地域の農家の方による野菜の栽培講習会
 - ・レシピ集の作成・食育だよりの活用・給食だよりの発行
 - ・PTA新聞「北辰」での啓発及び家庭での取り組みの紹介
- (3) 授業研究
 - ア 低学年部会，高学年部会の2つの部会に分かれての授業づくり，授業改善
 - 低学年ブロック研究授業（1月）
 - 1学年 学活 「げんきなうんち」 野尻あや子教諭
 - 指導助言 スポーツ健康課副主幹指導主事 高尾順子先生

○高学年ブロック研究授業（10月）

6学年 家庭科「くふうしよう楽しい食事」大島めぐみ教諭・小泉麻美栄養教諭
イ 授業参観日における食育にかかわっての授業実践

（各学年 7月，または10月のどちらかで実施）

ウ 塩山中学区ブロック交流会における食教育の授業公開及び学習会

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1年 学活「げんきなうんち」 | 野尻あや子教諭・小泉麻美栄養教諭 |
| 2年 学活「かむかむパワーで元気な体」 | 内田厚子教諭 |
| 3年 保健「けんこうってなんだろう」 | 鈴木百合子教諭・金丸恵里子養護教諭 |
| 4年 学活「魚ってすごいね」 | 檜垣貴子教諭 |
| 5年 学活「食事のマナーについて考えよう」～修学旅行に向けて～ | 古屋 卓教諭 |
| 6年 学活「食生活を振り返り，よりよい生活習慣を考えよう」 | 小宮山公仁教諭 |
| ひまわり学級 生活单元「野菜を育てて食べよう」 | 大島めぐみ教諭 |

II 成果と課題

<成果>

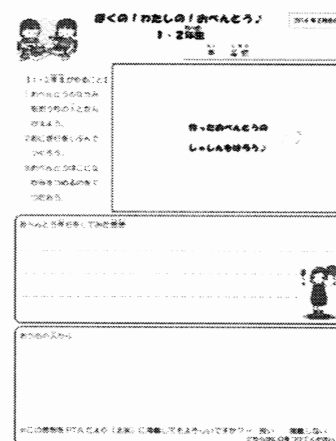
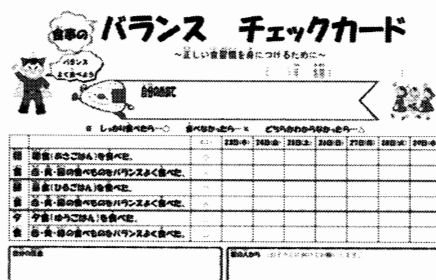
- 「自産自消」をキーワードに，家庭・地域と連携し学校教育全体を通して，食に関する体験活動を行うことにより，児童の食に対する意識を高め，実践することができた。
- 「自産自消」の取り組みを通して，児童は，楽しさや喜び，協力，挫折などを経験し，心も成長した。「自分達で育て，食べる。」という連続性のある取り組みだったので，食材に対する意識が高まった。給食の残食もぐんと減った。
- 体験活動や授業実践により，教師自身にも「食育」に関する知識が広がり，給食指導や日常生活での児童への言葉がけなど，教育実践に活かすことができた。教師自身の資質向上につながった。6項目の評価項目すべてのパーセンテージに向上が見られた。
- 授業参観での食育の授業実践は，保護者にも食育の大切さが伝わり，家庭との連携という意味で大変効果的だった。食を通じた知徳体にもつながり，実際の生活に活かされた。
- 「お弁当の日」の作者の講演を5・6年生も保護者も聞くことができたこと，それが実際に自分でお弁当を作る「お弁当の日」へといきたことが大変有意義だった。

<課題>

- カリキュラムと食育の関係をさらに明確にし，「食と学力」「食と生きる力」の関係についても今後研究していくことが大切である。

III 成果物

- 1 食と健康に関するアンケート
- 2 バランスチェックカード
- 3 お弁当の日ワークシート
- 4 お弁当カード
- 5 レシピ集
- 6 授業実践指導案及びワークシート 教材・教具
- 7 家庭学習の手引き（各学年）



（研究主任 内田 厚子）